

同時進行型



青森県弘前市立北小学校
相馬 麻生子

実践テーマ

拡大提示した俳句の隠れた言葉を予想し、思考力を育成する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 ワークシート上の俳句（一部を隠した）を電子黒板に提示し、隠れた言葉を予想する。（興味・関心を高める）
- 〈展開〉 予想した言葉を付箋紙に書き、ワークシート上で分類。実物投影機で電子黒板に拡大提示。（意欲的な話し合い、思考力の育成）
- 〈まとめ〉 季節の写真を提示し、感想を話し合う。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 小林一茶の穴埋め俳句を4句提示（静止画①）。 学習問題をつかむ。「四角の部分の言葉をそうぞうしよう」 ワークシートの配布。 	<ul style="list-style-type: none"> 自作ワークシート（小林一茶の穴埋め俳句）
展開	<ul style="list-style-type: none"> 四角に入る言葉を想像する（入る言葉のヒントを話し合う）。 付箋紙による分類結果を提示し、考えを発表し合い、さまざまな言葉からイメージをふくらませる（静止画②）。 	<ul style="list-style-type: none"> 分類シート 自作写真（季節の写真）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 季節の写真を提示する（静止画③） 小林一茶は、どんな人が考える。 4つの句を音読し、好きな句を視写する。 学習感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自作写真（季節の写真）



自作ワークシートを提示



自分の考えを書いた付箋紙を分類シートに貼り実物投影機で拡大提示



季節をつかませる写真を提示

児童の反応・効果

- 電子黒板を使用したことにより、意欲や関心・集中力が高まった。
- 付箋紙による分類結果を実物投影機を使用し、拡大提示したことにより、友だちの考えがわかると同時に、自分の考えも取り上げられる満足感を感じることができた。

活用のポイント

- 言葉を隠して提示したことにより、想像力・考える力を高めることができる。
- 写真（季節・季語）を提示することにより、情景を想像させやすい。次の創作活動への意欲も高まった。